



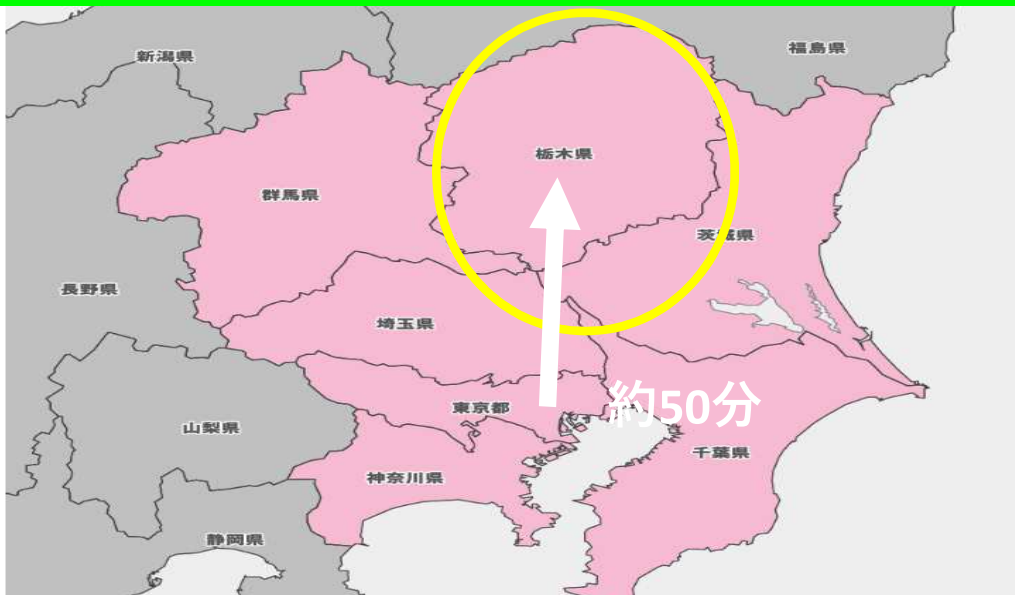
地区防災計画策定促進に向けた**栃木県**の取組



令和4(2022)年12月6日(火)
栃木県県民生活部消防防災課
主査 稲葉 敬一



1. 栃木県とは・・・



項目	内容
県庁所在地	宇都宮市
人口	約190万人（うち、宇都宮市に約52万人）
市町数	14市11町 ⇒25
都心からのアクセス	東京駅から宇都宮駅まで、東北新幹線で約50分

栃木県民ってどんな人？

栃木県民は

- 裕福!** (県民所得(1人当たり) 4位)
- 献身的!** (高校生献血率 1位 自主防犯ボランティア団体数 14位 骨髓バンク登録者(人口千人当たり) 2位 認知症サポーター数(人口比) 17位)
- 早起き!** (起床時刻 8位)
- おしゃれ!** (和服支出額 3位 洋服支出額 4位 シャツ・セーター類支出額 7位)

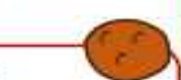
好きなことは・・・

- 外出運動**
 - 遊園地・動物園・水族館等の見物の行動者率 9位
 - ゴルフの行動者率 7位
 - スキー・スノーボードの行動者率 16位
 - サイクリングの行動者率 15位
 - スポーツウェア支出額 14位
 - 器具を使ったトレーニングの行動者率 12位
- 映画・演劇** 映画・演劇等入場料支出額 2位



好きな食べ物は・・・

- お寿司**
 - まぐろ支出額 2位
 - ずし外食費 8位
 - めん類**
 - ラーメン外食費 2位
 - そば・うどん外食費 6位
 - お菓子**
 - お菓子支出額 2位
- 海へのあこがれ!?
- 栃木県民は お菓子が大好き!
せんべい支出額 1位
ビスケット支出額 2位



2. 栃木県といえば・・・



男体山と中禅寺湖



大谷資料館



蔵の街とちぎ



3. 栃木県といえば・・・②



- いちごの収穫量 54年連続日本一の名実ともに**いちご**王国！
- 特徴あるオリジナル品種が**複数**存在。



とちおとめ

全国No.1のシェアを誇る
いちご王国の主力品種



スカイベリー

大きい、美しい、美味しい
三つ星いちご



とちあいか

酸味が少なく甘さが際立つ
いちご王国のニューフェイス



とちひめ

栃木県内でしか味わえない
幻のいちご



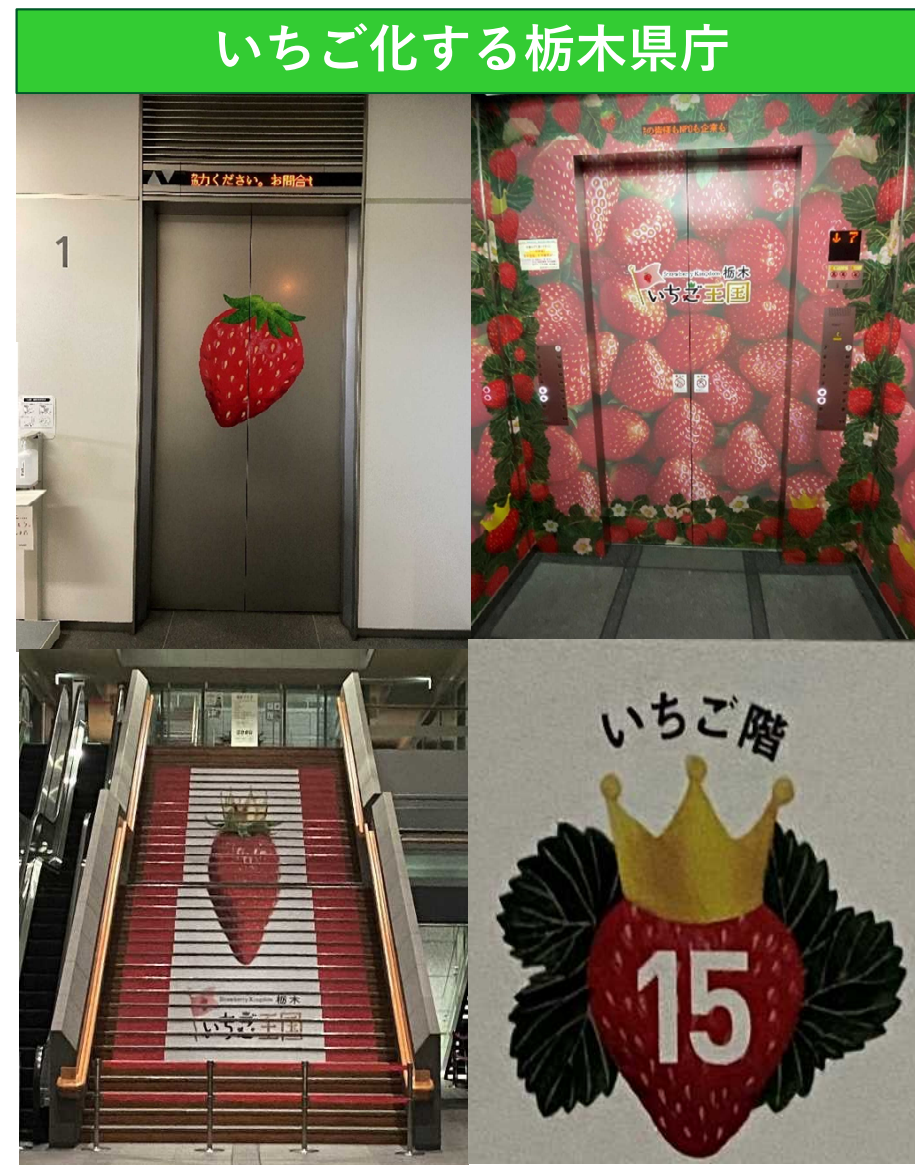
ミルキーベリー

いちご王国初の
白いちご



なつおとめ

断面がハート型の
夏採りいちご



いちご化する栃木県庁



いちご一會とちぎ国体
いちご一會とちぎ大会
夢を感動へ。感動を未来へ。 2022



4. 本県における大規模災害



○災害が少ないと言われてきた本県でも、近年は災害が増加傾向。

発生年月	災害名	総雨量・最大震度等	死者等	家屋の被害
昭和22(1947)年9月	カスリーン台風	516mm (塩原)	437名	2,249戸
昭和24(1949)年9月	キティ台風	627mm (中宮祠)	12名	2,594戸
昭和24(1949)年12月	今市地震	M6.4 : 震度5~6 (今市)	10名	3,284戸
昭和61(1986)年8月	茂木水害	332mm (高根沢)	6名	137戸
平成10(1998)年8月	那須水害	1,254mm (那須)	7名	95戸
平成15(2003)年9月	黒磯ﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ 工場火災	(那須塩原 : 旧黒磯)	5,000名に 避難指示	—
平成23(2011)年3月	東日本大震災	震度6強 (宇都宮、真岡、 大田原、高根沢、市貝)	4名	2,379戸
平成27(2015)年9月	関東・東北豪雨	647.5mm (今市) ※大雨特別警報発表	3名	989戸
令和元(2019)年10月	東日本台風	512.5mm (奥日光) ※大雨特別警報発表	4名	5,306戸
令和3(2021)年2月	林野火災	(足利市 両崖山付近) 約 167ha 焼失	305世帯に 避難指示	—



○令和元年東日本台風時には、県全域で面的に被害が発生。



堤防が決壊した秋山川（佐野市）



足利市奥戸町の冠水



- 平成25(2013)年度の災害対策基本法改正により、「地区防災計画」が制度化されたものの、本県では計画策定数が伸びず。
- 平成30(2018)年度末時点の策定数は6計画（素案含む）にとどまる。

平成30(2018)年度末時点

地区防災計画策定数	6
県内自主防災組織数	約2,500

(参 考)

策定主体は、自主防災組織以外
もあるので、あくまで参考

平成30年中央防災会議

【平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告）】

・ 災害時に住民が主体となって適切な避難行動をとるには、～中略～
地区防災計画の作成、～中略～
等の地域防災力の強化が必要である。

地区防災計画
の重要性

栃木県も、
地区防災計画
策定促進へ
スイッチオン!

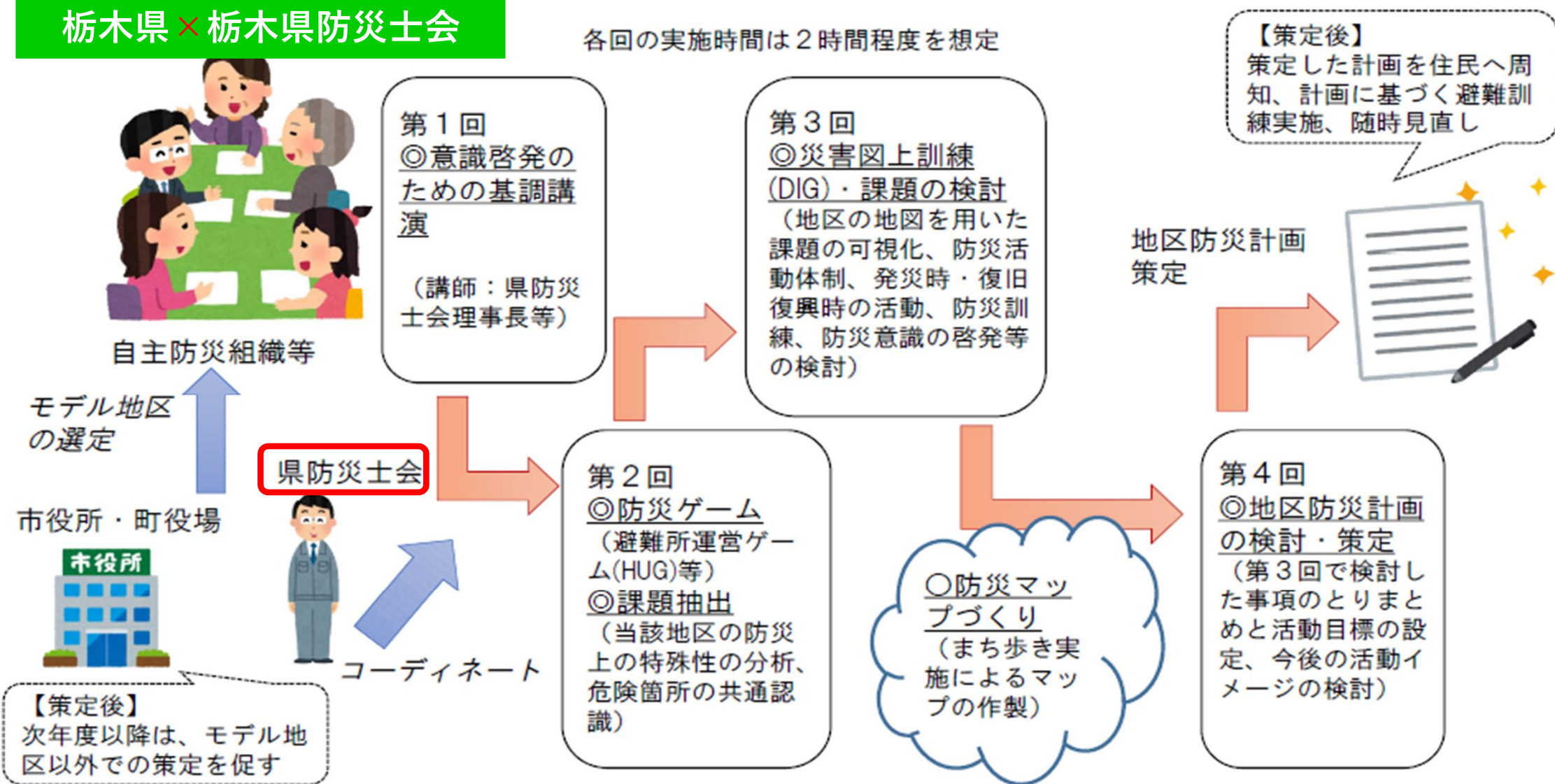




- 令和元(2019)年～2(2020)年にかけて実施。
- 県内全市町につき1地区をモデル地区として選定。栃木県防災士会から防災士を派遣することにより、地区防災計画の策定支援。

栃木県 × 栃木県防災士会

各回の実施時間は2時間程度を想定





○モデル事業では、各地区の住民同士で話し合い、工夫を重ねた。

工夫した主な事例

(1) 多様な地区住民の目線

①子どもの参加

- ・計画策定過程の防災まち歩きには、小中学校に協力を仰ぎ、地域の子ども達も参加。
- ・危険箇所を調べる際に、通学路を確認するために子ども会にも参加を依頼。

②女性の参加

- ・女性の意見を取り入れるため、地区内の女性防火クラブを中心に声をかけて、参加いただいた。

③各種団体の代表者の参加

- ・地域全体が連携した計画になるよう、計画策定メンバーに各種団体の代表者を加えた。

(2) あえての工夫

①できるところから

- ・最初から完璧な計画を目指さず、できることから始める。(更新ありき)

②読ませることよりも一目で分かる

- ・幅広い年代に理解してもらうため、読ませることよりもパッと見て分かる工夫をした。



鹿沼市加蘇地区の計画策定に参加した子どもたち



多様な団体が参加した栃木市吹上地区



- 令和元(2019)・3(2021)年度の2カ年でとちぎ地域防災アドバイザー(防災士)を108名養成。 ※令和2(2020)年度はコロナのため養成できず。
- 地域防災リーダーとして、地区防災計画策定のキーパーソンに！

養成した背景

- 地区防災計画策定が進まず
- 自主防災組織の活動や防災士の数に地域間格差

アドバイザー養成

期待

- 地区防災計画策定数の増
- 地区防災計画の質の向上

居住地域の
地区防災
計画策定
主導

居住地域を
越えた地区
防災計画
策定の支援

地区防災計画
策定数の増・
質の向上



Key Person

防災士の養成

【R1・R3】
養成講座を実施

防災士の
スキルアップ
スキルアップした
防災士が県全域に!

【R4～】

アドバイザー連絡会議を実施
→ ・意見交換
・実践的研修



- モデル事業で得た成果を活かし、災害リスクの高い地区（250地区）を中心に計画策定を促進
- 特に、市町における計画策定が進むよう支援ツールを整備

R1～R2

モデル事業 実施

各市町1地区の
策定支援

24
地区

R3～R7

特に災害リスクが高い地区*の策定を促進

- ①マニュアル・事例集、映像教材の制作
- ②地区防災計画策定促進検討会
- ③地域防災アドバイザー連絡会議
- ④地区防災計画策定支援補助金
 - ・地域防災アドバイザー活用
 - ・防災訓練
 - ・災害時要支援者対応支援

250
地区

R8～

市町の自主的
な取組による
策定支援へ

約2,250
地区



*土砂災害警戒区域と洪水浸水想定区域の
両方を有する地区

*コロナにより1地区
策定に至らず



○モデル事業で得た成果について、地区の防災リーダーや市町担当者等の支援者向けのマニュアル・事例集としてまとめ配布した。

みんなが主役！ 地区防災計画策定マニュアル 《付録：事例集》

地区の防災リーダー・支援者向け



VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ

栃木県



マニュアル編

第1課 地区防災計画制度について知ろう	
1-1 地区防災計画とは	3
1-2 計画策定のメリットと効果	4
1-3 制度についてもっとよく知る	5
第2課 地区防災計画策定を担う人材や策定する場を設定しよう	
2-1 策定を担う人材の検討	6
2-2 地域住民の絆や関係団体等との連携	8
2-3 策定を進める場の設定	10
第3課 地区防災計画策定の流れ	
STEP 1 事前準備	11
STEP 2 工程確認	11
STEP 3 骨子作成	13
STEP 4 計画案作成	14
補則 さまざまな防災訓練・防災ゲーム	16
第4課 地区防災計画の充実に向けて	17
補則 個別避難計画（避難行動要支援者）	18
コーヒープレイク 宇都宮大学生による計画策定のススメ	19

事例集編

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 宇都宮市瑞穂野地区 | ⑩ 下野市ダイヤパレス地区 |
| ② 栃木市寺尾地区 | ⑪ 上三川町右田地区 |
| ③ 佐野市島生地区 | ⑫ 益子町新町地区 |
| ④ 鹿沼市加藤地区 | ⑬ 茂木町深沢上 |
| ⑤ 日光市裏見台自治会 | ⑭ 市貝町古碓下町地区 |
| ⑥ 小山市大字薗々田自主防災会 | ⑮ 芳賀町上船自治会 |
| ⑦ 真岡市西田井地区 | ⑯ 壬生町千生城址地区 |
| ⑧ 大田原市西部地区 | ⑰ 野木町野木区 |
| ⑨ 矢板市片岡4区 | ⑱ 塩谷町芦場新田 |
| ⑲ 那須塩原市黒磯七区 | ⑳ 高根沢町太田地区 |
| ⑳ さくら市曹達川中央行政区 | ㉑ 那須町黒沢大沼野井自主防災会 |
| ㉒ 那須烏山市向田・落合地区 | ㉒ 那珂川町壺町 |



○ 24カ所のモデル地区を次のとおり事例集としてまとめた。

事例集の1例

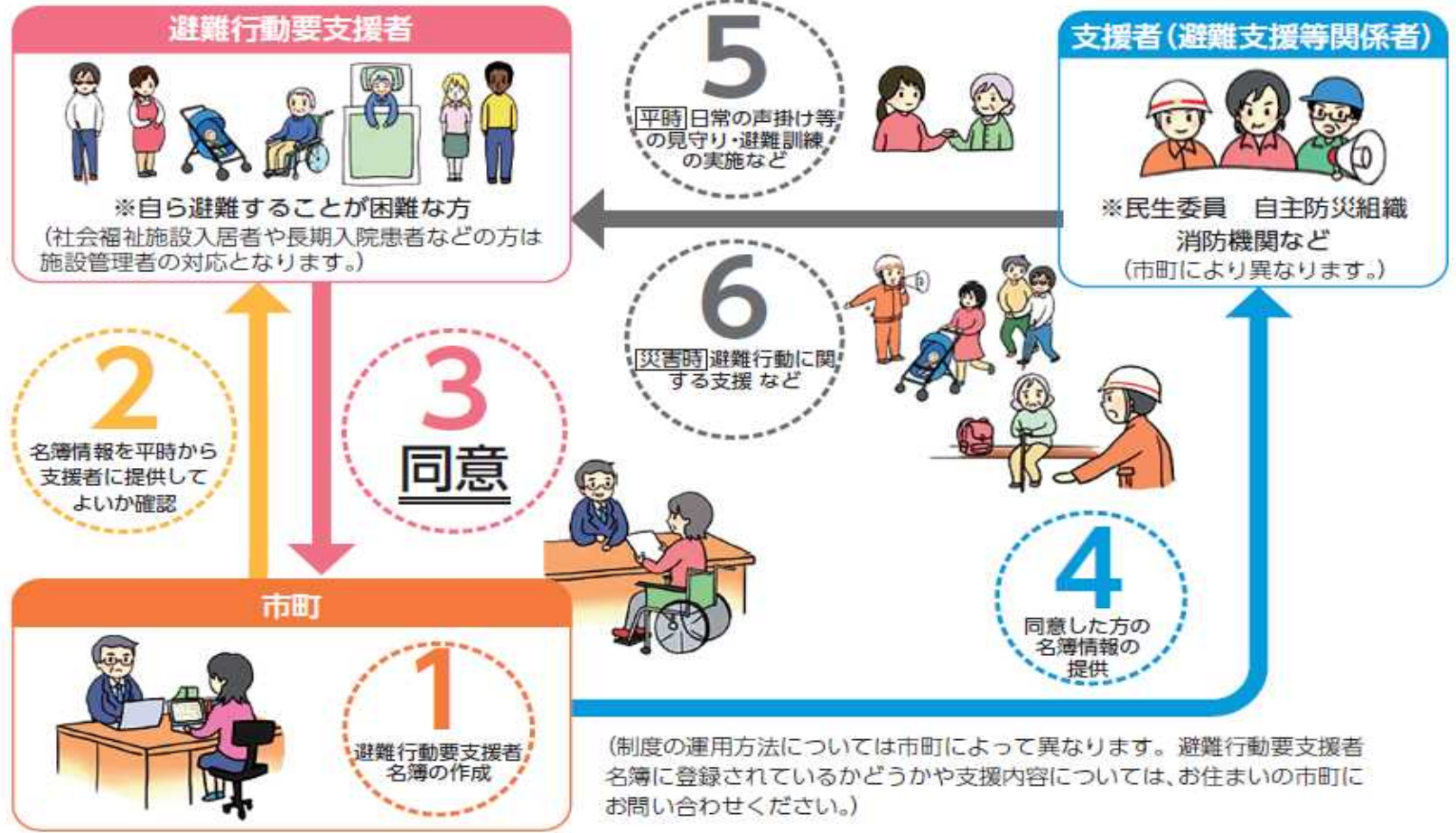
市町名	塩谷町	計画の内容			
		基本方針	○	組織・体制	○
モデル地区名	芦場新田	活動目標	○	要配慮者	○
地区内の自主防災組織の構成	芦場新田区自主防災組織	活動予定	○	避難	○
		防災訓練	○	避難所	○
地区内の世帯数(策定時)	73世帯	資材備蓄	○	マップ	○
計画策定年月	令和2年3月	相互支援		その他	
計画策定の経緯(時系列)		ポイント、工夫した点、苦労した点			
H30 自主防災組織設立		<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップ作成と併せて土砂災害や浸水箇所等危険個所を洗い出しを行った。 ・ 避難時の要支援者及び支援者(車運転者)を定めた。 ・ 防災講話、訓練等を通して事前に災害に備えることの重要性について、再度理解を得るようにした。 ・ 訓練や策定会議は、なるべく区の行事に併せて行うことにより、住民の負担を減らした。 			
H30 防災資機材購入					
R元.6.30 普通救命講習会					
R元.12.15 塩谷町防災総合訓練参加					
R元.12.15 県防災士理事長による講話					
R元.12.15 HUG訓練					
R2.2.16 DIG訓練、まち歩き					
R2.2.16 防災マップ作成					
R2.3.1 防災計画検討、策定					





○個別避難計画に関するページを設けて内容を説明するとともに、地区防災計画と個別避難計画との連携の必要性を明記した。

参考：自ら避難することが困難な方への支援イメージ





○モデル事業で得たノウハウについて、市町担当者や地域の防災リーダー等の支援者向け映像教材としてまとめ、配信した。

県HPに掲載

令和4年2月に地区防災計画を策定するための映像教材を県ホームページにアップしました。地域の集まりなどで放映していただくことで、計画づくりができるようになっていきますのでご活用ください。（全4回）

とちぎ動画5ch「防災・安全」

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/tib/5ch/bousai-anzen/index.html>

chapter1「講義（栃木県の災害、自助・共助・公助、地区防災計画の制度）」、演習「クロスロード」

chapter2「講義・演習（災害図上訓練（DIG）の進め方）」

chapter3「講義（DIGを踏まえた地区の課題共有）、演習（まち歩きの進め方）」

chapter4「講義（地区防災計画に盛り込む内容とは）」





○モデル事業でノウハウを取得した市町において、策定がさらに進むよう、令和3(2021)年度に補助メニューを新たに創設。

地区防災計画策定強化事業

項目

内容

地区防災計画策定支援
モデル事業の横展開

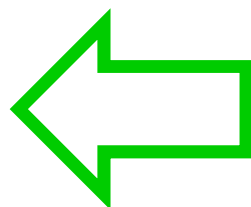
地区防災計画策定支援に係る専門家等派遣に要する経費の助成

防災訓練・避難行動要支援者対応等支援
内容の充実

地区防災計画を策定している地区における防災訓練・避難行動要支援者対応等支援に係る専門家派遣に要する経費の助成

補助率及び上限

- 補助率：1 / 2
- 1地区あたり限度額：80千円



【考え方】

- 計画策定支援人材に対する謝金
→20千円/回×2人×4回



- 令和4(2022)年度から県政出前講座を開始。各自治会や各自主防災組織へ出向き、地区防災計画の重要性を伝えていく。
- パネル(A1サイズ)を制作し、出前講座等で活用していく。

今年度の実績(予定含む)

- 防災リーダー研修会の1コマ
 - 県婦人防火クラブ連合会総会
 - 障害者福祉施設
- 等

パネルの制作

現在制作中

- 次の3テーマで制作し、出前講座で活用するとともに、栃木県防災館内の展示コーナーに掲示

【テーマ】

- ①地区防災計画の概要
- ②地区防災計画の策定手順(例)
- ③地区防災計画策定に役立つ
防災訓練や防災ゲームの紹介



出前講座の様子



栃木県防災館内の展示コーナー



- 市町職員（防災及び福祉部門）や防災士等が一堂に会し、策定事例の共有や意見交換を行う場。
- 同時に、有識者による基調講演及び市町職員による支援者目線での事例発表等も実施。

防災計画策定へ 担当者が研修

県自治会館

地域防災力の強化などを
目指す「地区防災計画策定
促進検討会」が29日、県自
治会館で行われ、県内市町
の防災・福祉担当者や防災
士ら約60人が参加した。
研修会は、自主防災組織
などが策定する地区防災計

R3.7.30

下野新聞

有識者による基調講演

R3年度：跡見学園女子大学 鍵屋教授
R4年度：香川大学 磯打特命准教授

支援者目線での事例発表から（抜粋）

- 地域の防災は、中々、動き出すまでが大変。
- 「忙しい」・「難しい」・「めんどくさそう」を解消するため、行政の手助けが必要。
- 一方、行政が「至れり尽くせり」の形で関わると、地域として「作っただけ」になってしまふ恐れがあり。
- 取り組みを通じて、少しずつ地域主体の取り組みとなるような働きかけが必要。

画の策定を進め、災害時の迅速な避難行動を実現しようと開催。一般社団法人「福祉防災コミュニケーション協会」代表理事を務める鍵屋一、跡見学園女子大教授が、地区防災計画について基調講演した。

鍵屋教授は、地域コミュニティの脆弱化などを指摘した上で、地区防災計画を浸透させることが近隣住民らの「近助」を強化し、スムーズな避難行動につながるという話した。「自分は大丈夫という偏見は根強い。在宅避難者の見守りも重要だ」などと述べた。



ワークショップで意見を出し合う参加者たち。29日午後、県自治会館

「プロも行い、参加者は「向こう三軒両隣の関係づくりが必要」「平時からタイムラインの作成を」などと活発に意見を交わした。



○県庁内他部局とも連携し、地区防災計画策定を促進。

個別避難計画

- 保健福祉課から、市町福祉部門に対して検討会への参加を呼びかけ。
- 検討会にて、個別避難計画を説明。
- マニュアルにて、個別避難計画を紹介。等

保健
福祉課



消防
防災課

河川課

気候変動
対策課



流域治水

- 検討会にて、流域治水を説明。
- 浸水想定区域に対して、積極的に計画策定をアプローチ。

気候変動対策

- 栃木県気候変動対策推進計画にて、ソフト面の適応策として、「県内全域への地区防災計画策定支援」を明記。



栃木県の取組指標

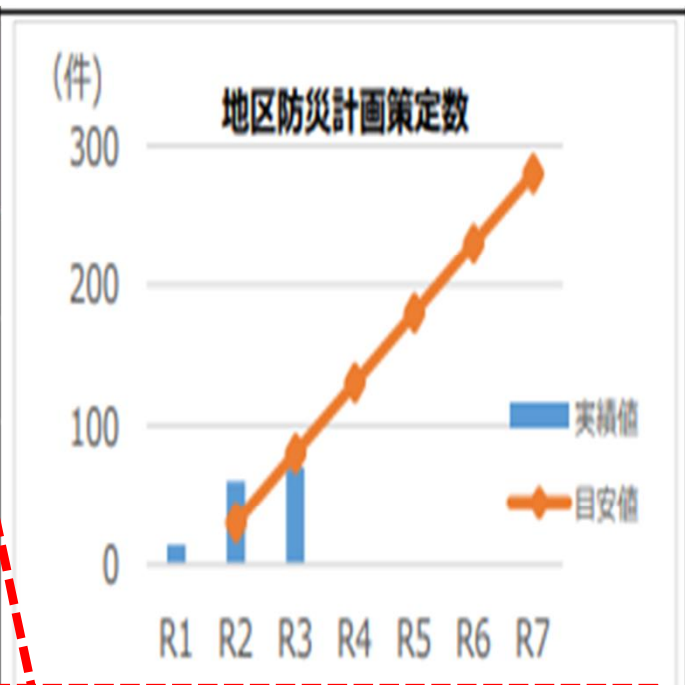
災害リスクの高い地区

○令和3(2021)～7(2025)年度の5年間で、**250地区**以上で地区防災計画を策定

<とちぎ未来創造プランプロジェクト評価シートから抜粋>

【R4.8.3栃木県HPで公表】

②地区防災計画策定数	基準値	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	目標値
	R 1 (2019)	R 2 (2020)	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	
目安値	14	30	80	130	180	230	280	
実績値	(件)	60	73					
達成見込		A	+13 A					
要因分析等	・感染症の影響により、 <u>計画策定に係る地域の活動が停滞したため、目安値を下回った。</u>							



R2末：**30**地区 ⇒ R7末：**280**地区
+250

今後の展開

- ・各市町に寄り添い、計画策定のために必要な支援を実施。
- ・情報収集を行い、優良事例の横展開を。
- ・計画をつくって終わりではなく、訓練等によって内容を見直し、質の向上へ。



- 最大の敵は、**正常性バイアス**。計画策定への機運が盛り上がっても、「うちの地域には災害はこない。計画は必要ない。」という住民からの意見により、策定に至らなかった事例が散見された。
- 地区防災計画策定促進に係る取組や自主防災組織の活性化について、県としてまだまだ着手可能なことがあると思うので、全国の皆様の取組事例をご教示ください。

栃木県HP（参考）

【地区防災計画をつくろう！】

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c02/tiiki-bousai/tiku-bousai.html>



連絡先

栃木県県民生活部消防防災課地域防災担当

T E L : 028-623-2127 F A X : 028-623-2146

E-mail : syoubou@pref.tochigi.lg.jp



栃木県消防防災航空隊が
Facebookをはじめたので、
フォローするまる～



栃木県消防防災航空隊

95件の「いいね!」・フォロワー323人

ご清聴いただき
ありがとうございました。

